

なぎなた

専門委員長 川村 美千代



本年度の県総体は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行したことに伴い、換気や消毒などの感染対策は徹底しつつも、4年ぶりに有観客での大会となりました。県内のなぎなた部は鳴門高校1校

であるため、例年通り鳴門高校の多目的ホールにて個人試合と演技競技のみが行われました。門田蒼依（3年）が個人試合で優勝し、優秀選手賞を受賞しました。

6月に愛媛県で開催された四国高校選手権大会には、個人試合に3名、演技競技に2組が出場しました。個人試合1回戦では、鎌田莉緒（3年）、門田蒼依（3年）が延長までもつれこむ白熱の試合を見せました。延長の

末、鎌田は惜しくも敗れましたが、門田は見事勝利し、2回戦進出を果たしました。演技競技は2組とも初戦敗退となりましたが、小川優華（2年）・長谷部唯（1年）のペアは、非常に短い練習期間であったにもかかわらず、今後のさらなる飛躍が期待できる見事な演技を披露しました。

なぎなた競技のインターハイは、8月4日～7日の日程で、北海道の千歳市開基記念総合武道館で開催されました。個人試合、演技競技に加え、団体試合にも出場しました。敗れはしたものの、全国という高いレベルでの試合を経験したことは選手たちの大きな財産となりました。

徳島県にはなぎなたを指導できる教職員がいないため、なぎなた部の活動はあらゆる面で徳島県なぎなた連盟の皆さまに支えていただきながらの活動となっています。今後とも相互に連携を図りながら、協力体制を築いていけるよう努めて参ります。

◎県高校総体 令 5. 6. 3 於 鳴門高校多目的ホール

<個人試合>

| | A 門田 蒼依 (鳴門) | B 鎌田 莉緒 (鳴門) | C 小川 優華 (鳴門) | 勝者数 | 総本数 | 順位 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----|-----|----|
| A 門田 蒼依 (鳴門) | | ② ○ 延判 | ① ○ メ | 2 | 2 | 1 |
| B 鎌田 莉緒 (鳴門) | ② × | | ③ ○ メ | 1 | 1 | 2 |
| C 小川 優華 (鳴門) | ① × | ③ × | | 0 | 0 | 3 |

コ：コテ ○：勝ち
メ：メン ×：負け
ド：ドウ △：反則
ス：スネ 延：延長
判：判定

個人順位

優 勝 門田 蒼依 (鳴門)
準優勝 鎌田 莉緒 (鳴門)
3 位 小川 優華 (鳴門)

<演技競技>

| | A 鎌田 莉緒 門田 蒼依 (鳴門) | B 長谷部 唯 小川 優華 (鳴門) | 順位 |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----|
| A 鎌田 莉緒 門田 蒼依 (鳴門) | | ① 5/5 ○ | 1 |
| B 長谷部 唯 小川 優華 (鳴門) | ① 5/5 × | | 2 |

演技順位

優 勝
鎌田 莉緒 - 門田 蒼依 (鳴門)
準優勝
長谷部 唯 - 小川 優華 (鳴門)

◎四国高校選手権 令 5. 6. 18 於 愛媛県武道館

<演技競技>

1回戦

長谷部・小川(鳴門) 不戦勝 —— (高知県)
鎌田・門田(鳴門) 0 —— 5 直井・川田(丸亀)

2回戦

長谷部・小川(鳴門) 0 —— 5 村上・松浦(今治東)

<個人競技>

1回戦

小川 優華(鳴門) —— メ'ス" 西谷佳那子(丸亀)
門田 蒼依(鳴門) メ —— 中西 深月(丸亀)
鎌田 莉緒(鳴門) —— 延判 加藤 希愛(琴平)

2回戦

門田 蒼依(鳴門) —— メ'メ" 松浦妃奈乃(今治東)



勝負所
徳島科学技術高校 3年 一宮 陸叶